

第3弾

志布志モデル海を渡る

JICA草の根技術協力事業（地域提案型）
フィジー国を中心とした大洋州における志布志モデルの推進

キックオフミーティング報告

日時：2011.7.3（日）～7（木）

場所：フィジー国スバ市、ラウトカ市、ナンディー町



ものを大切に 人を大切に
志布志市

これまでの経緯

- 2007.8.28 中央環境審議会「志布志市の環境政策」発表
- 2007.10.25～26 国際協力機構（JICA）来市
- 2008.10.14 委嘱：フィジー国廃棄物減量化・資源化促進
プロジェクト国内支援委員会委員
- 2008.11.8～15 運営指導調査に同行「一期一会」
- 2009.11.24～26 カウンターパート職員来市
- 2010.5.28～6.6 中間評価調査に同行「国づくりは人づくり」
- 2010.9.6～9 カウンターパート職員来市
- 2010.10 草の根技術協力事業（地域提案型）に応募
事業名：「フィジー国を中心とした大洋州における
志布志モデルの推進」
- 2010.12 採択
- 2011.7.5 キックオフミーティング

キック オフ ミーティング

2011.7.5 フィジー国スバ市



基本的事項につき、合意しました

ラウトカ市SA、ナンディー町SA、フィジー国環境局長、志布志市長、志布志市議会議長、JICAフィジー事務所長(左から)

JICA草の根技術協力事業（地域提案型）

「フィジー国を中心とした大洋州における志布志モデルの推進」の概要

1．事業の概要

志布志市にて、フィジー国、ミクロネシア国、ソロモン国、バヌアツ国研修員の受け入れ

フィジー国に、志布志市から専門家を派遣し地区説明会の実施

フィジー国にて、フィジー国内各自治体担当者を集めて廃棄物管理セミナーの実施

フィジー国にて、ミクロネシア国、ソロモン国、バヌアツ国研修員の受け入れてのセミナーの実施

2．実施期間

2011年度（平成23年度）～2013年（平成25年度）

ともに頑張ろう

市長キックオフミーティング発言要旨

- 志布志市の取り組みが参考になればうれしい
- 志布志市としても皆様の力になりたいと考えている
- それぞれの立場で連携し、同じ目標に向かっていけば、必ずより良い地域社会を創ることができる
- ともに頑張ろう

ラウトカ市表敬訪問

2011.7.4



ラウトカ市SAから、「東日本大震災に対するお見舞い、この事業実施に対する感謝、志布志市をモデルに我々も頑張っていきたい、友好的な関係を築きたい」などの話がありました。

ラウトカ市最終処分場を視察

2011.7.4

市場から排出される生ごみの堆肥化を行っています。奥の方に、マングローブ林の中に最終処分場があります。

ナンディ町表敬訪問

2011.7.4

ナンディ市SAから、「この事業実施に対する感謝、志布志市をモデルに我々も頑張っていきたい、友好的な関係を築きたい」などの話がありました。

ナンディ町マタボリボリ地区視察

2011.7.5



この地区は分別排出に取り組んでいるパイロット地区です。住民リーダーが、「私たちの取り組みがフィジー国内さらには大洋州全体に広がっていけば、我々の誇りだ」という言葉が眩しかったです。

夕暮れ時、子供たちがいっぱい遊んでいました。

共生協働で国際貢献

フィジー国スバ市

この事業は日本を代表しての国際貢献であること、そして志布志モデルが国際的に発展していくということです。素晴らしいことです。

友好 新たな出発

2011.7.5 キックオフミーティング終了後



逢うすべての人から、「今後も友好を深めて行こう、志布志市を目指して頑張りたい」との話がありました。「友好」と「新たな出発」を感じました。すべての人に感謝です。ありがとうございました。